

“棚田を活用した元気な集落づくり”

西八幡生活圏(有田川町)

西八幡の現況

【人口】 309人【集落数】 3集落【高齢化率】 63%
【世帯数】 159世帯(65歳以上一人暮らし 49世帯)
【施設】 沼診療所(H23.6末で廃止)
町営住宅、近大生石農場
生石高原、高原の家しみず
楠本小学生5名
白馬中学(楠本から4名通学)

【主産業】 農業(山椒、稲作、トマト)
耕作面積: 30.3ha
(田16.2ha 畑14.1ha)
耕作放棄地: 3ha 販売農家: 88戸
【鳥獣被害】 シカ、猪による被害が大きい
【特産品】 山椒、しみずの米、高原野菜(しょうせきじんじゃ)
【地域資源】 二川ダム、生石高原、法福寺、生石神社

【生活環境】 コミュニティバス 3路線とも週1回、
(路線から離れた集落有)
社会福祉協議会 配食サービスを実施
高齢者対策 緊急通報装置等の貸与
商店 1店 生鮮食料品無し
移動販売業者 主に食料品(週2回)

西八幡の課題

○地域住民のコミュニティが希薄

- 一人暮らし世帯が多く、地域住民相互の見守り体制ができていない
- 地域外の人と交流する機会が少ない

総合対策

〈1. 生活・交流対策〉 5,920千円

○耕作放棄棚田を活用した体験農園【楠本棚田を守る会】

- (環境整備) 耕作放棄地(30a)を鳥獣害対策等により農地に再生
(生産) 棚田を守る会が野菜(サツマイモ、大根等)を栽培
(収穫) 地域内外(高石市等)から収穫体験希望者を受け入れ
地元食材を使った田舎料理でおもてなし



(沼の棚田)

○耕作放棄棚田の環境保全【楠本棚田を守る会】

- 「棚田サミット」(25年11月)に向け、菊芋と曼珠沙華の花畑に再生
- 和大学の学生ボランティア等による植栽支援

○集出荷サポート等を実施【NPO法人ひまわり】

- 地域(約30戸)で採れた野菜を収集し道の駅「あらぎの里」等へ出荷
- 月2回「あらぎの里」が高石市で物産販売(アプラ高石)

○集落支援活動事業【有田川町、NPO法人ひまわり】

- 高齢者世帯(51世帯)の訪問、安否確認、集落行事への参加や草刈等

○農作物の生産意欲が低下、収入の確保に繋げることが必要

- 鳥獣被害が大きく、高齢者の方の生産意欲が減少
- 高齢者が簡単に取り組める農作物でかつ売れる食材が少ない

〈2. 産業対策〉 3,556千円

○健康食材育成で地域に活力

○菊芋プロジェクト【沼棚田を守る会】

- (生産) 耕作放棄地(60a)を鳥獣対策等により農地に再生し菊芋を生産
(加工) 小学校の廃校舎を利用して、菊芋チップ、菊芋パウダーに加工
酒造会社と連携し、菊芋焼酎を製造
県工業技術センターと連携し、新たな加工品開発
(販売) 加工品は物産販売所(4ヶ所)や高石市(姉妹都市)で販売すると
ともに健康食品のネット販売業者に販売
(食事提供) 地域の飲食店や温泉施設で菊芋料理を健康食として提供



(菊芋の花)



(菊芋)

○タニシプロジェクト【沼棚田を守る会】

- 休耕田(20a)をタニシの養殖場に再生
- タニシの佃煮等の土産品開発、地域の飲食店でタニシ料理を提供

目指すべき姿

○棚田を活用した高齢者の生きがいで元気な集落

○地域内外の人と交流し、住民が共に支え合う集落

【事業期間】 H24.6 ~ H27.3

【事業主体】 NPO法人ひまわり、棚田を守る会
有田川町 (楠本、沼)

全体事業費 9,476千円

〔 県 5,546千円 〕
〔 町 3,930千円 〕